

子どもが身近な人物の死という喪失に対処し、適応できるように手助けするためには、まずは安心して過ごせる場を作って悲嘆の過程を確保してあげること、次にその子が理解できる限り隠さず正直に対応すること、そして、子どもが持つ「死」や「死ぬこと」に対する知識や感情の多様性・主体性を理解していくことが重要です。

2.思春期の自死遺児への支援と対応

この時期の年齢(おおよそ小学校高学年以上)では、自分が自殺の第一発見者になることがあります。親や兄弟姉妹の自殺に際して、「親が自殺したのは自分のせいだ、自分も将来自殺してしまうのではないか、自分は親から捨てられたのではないか、親(兄弟姉妹)が自殺したことを話すと、友達がいなくなってしまうのではないか」などの感情をしばしば抱きます。これらの感情の是非ではなく、理解をしながら、その背景にある苦しみ、怒り、悲しみなどの感情に目を向けてその対処の仕方について一緒に話し合うことが大切です。また、周囲の大人の心配が幼い弟や妹に集中するため自分だけが放っておかれているような気持ちに陥りやすく、それが後になって大きな心理的負担となる可能性もあります。また、この年齢は群発自殺(ある人物の自殺が他の複数の自殺を引き起こす現象や、複数の人がほぼ同じ時期に同じ場所で自殺する現象)が起こりやすいことについても注意しなくてはなりません。

思春期の若者への支援については、カウンセリングや自助グループへの参加などの直接的な支援のみならず、彼らを支える家庭、学校や職場などの多方面からの支援が必要な場合があります。特に高校生、専門学校や大学生で、生計の中心であった家族が自殺した場合、学業の継続そのものが危機的な状況になるため、学費や生活費の援助の確保が最優先の支援となることもあります。

3.児童相談所における自殺関連問題の実態

前述にもあるように、自死遺児等は自殺という出来事に伴った特有の困難を抱えることがあり、適切なケアが必要になります。そこで、自殺予防対策センターが行った児童相談所における自死遺児の実態や家族の自殺関連行動(自殺既遂、自殺未遂もしくは自傷行為)の調査についてもご紹介します。

調査への回答が得られた児童相談所(207か所のうち160か所)のなかで、平成25年度中に一時保護になった児童のうち、自死遺児の存在が確認された児童相談所は約40%でした。児童相談所全体での自死遺児実数の合計は138人です。最も多い児童相談所では1年で16人の自死遺児が把握されていました。一時保護された児童の3%に保護者等の自殺関連行動が確認されました。また、自殺関連行動がみられた家族で、精神疾患により医療機関を受診した経験のある者は84.9%でした。

診断名で多く挙げられていたものは、気分障害(32.7%)、パーソナリティ障害(27.1%)でした。また、こうした児童の家庭では、生活の困難(「生活保護受給」(38.8%)や「生活困窮」(28.5%))があり、ひとり親家庭(「離婚」(46.5%)、「父親がいない」(27.9%))の割合が高いことがわかっています。

家族の自殺既遂または自殺未遂の現場を直接目撃したり、第一発見者になったりすることは、心的外傷的出来事の暴露に相当し、子どもの心にとって大きなストレスになります。

自殺行動の家族歴は子どもの自殺や非致死性の自殺行動のリスクを高め、同様に家族内での自殺行動の曝露は、思春期以降の子どもにおける自殺念慮の出現率を高めさせ、さらに激しい自殺企図との関連も指摘されています。

まだ子どもだからと自殺の真実を隠したりせず、悲しみを理解し、その子どもが死と向き合えるように適切な支援がとても大切であると同時に、保護者等の自殺関連行動の背景にある精神疾患や貧困の問題に目を向け、社会的な支援に力を入れることが早急に求められています。

参考文献

『児童相談所における自死遺児等支援の手引き』(独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター)

【3】お知らせ

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。

月曜日から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く) 10:00～16:00

Tel:0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。ぜひご覧ください。

パソコン HP URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯 HP URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記

北海道は5月に入りいっせいに花が咲いて木は茂り、春を迎えました。

昼間はかんかん照りで暑かったのに夕方からはコートが欲しくなるような気温の変動がある日が続いています。花粉や黄砂などもたくさん飛ぶ時期です。

体調に気をつけて日々の生活をおくっていききたいものですね。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.72 は、2015 年 6 月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp